

沖縄観光推進ロードマップPDCA 実施結果について (対象年度:令和5年度)



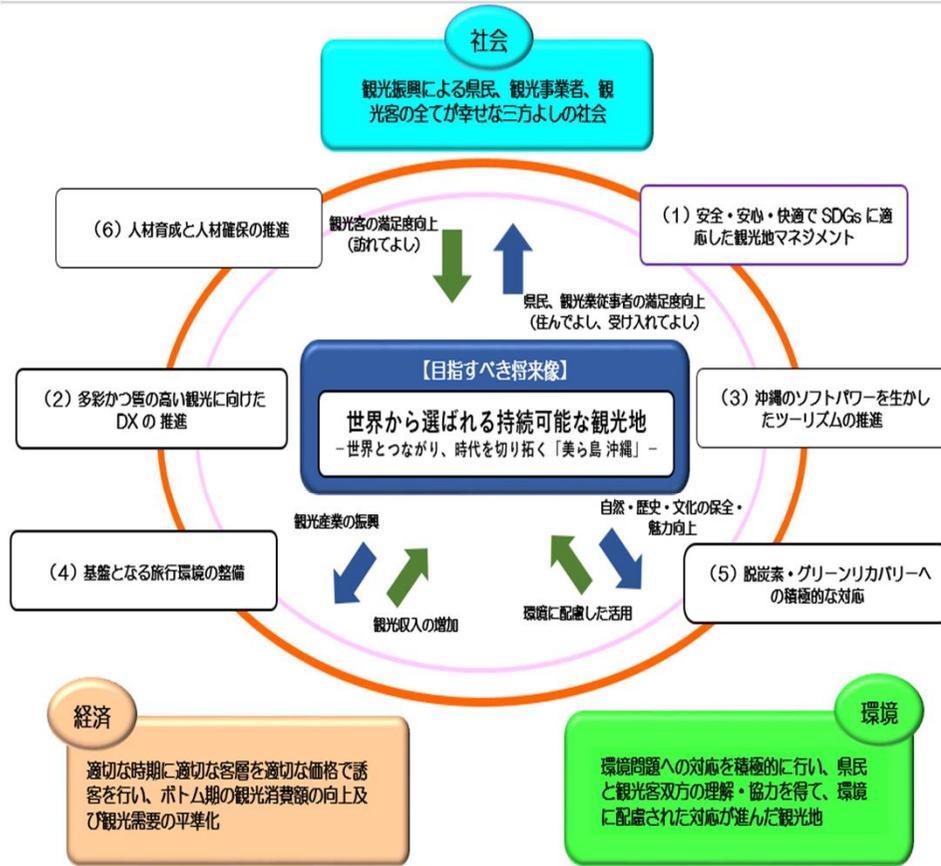
令和7年2月
沖 縄 県

目 次

1	沖縄観光推進ロードマップの概要について	1
2	PDCAの実施結果について(対象年度:令和5年度)	3
3	「主な取組」の進捗状況	4
4	「成果指標」の達成状況	6
5	PDCA検証結果の事例	8
6	検証結果からみえた課題と対応案	22

1 沖縄観光推進ロードマップの概要について

第6次沖縄県観光振興基本計画の概要



県民、観光客、観光従事者が、自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの満足度を高めるとともに、環境容量の範囲において観光産業の成長と維持を目指すことで、沖縄経済を最適に活性化させる。

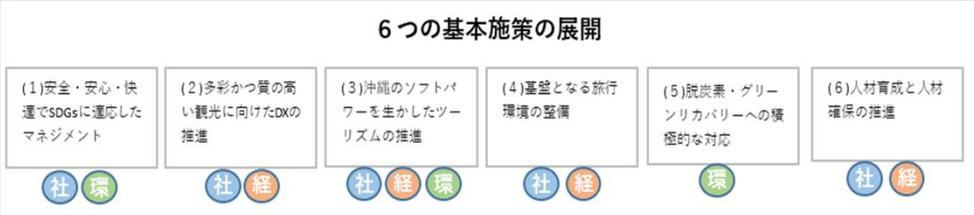
目指すべき将来像／VISION
「世界から選ばれる持続可能な観光地」
世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」

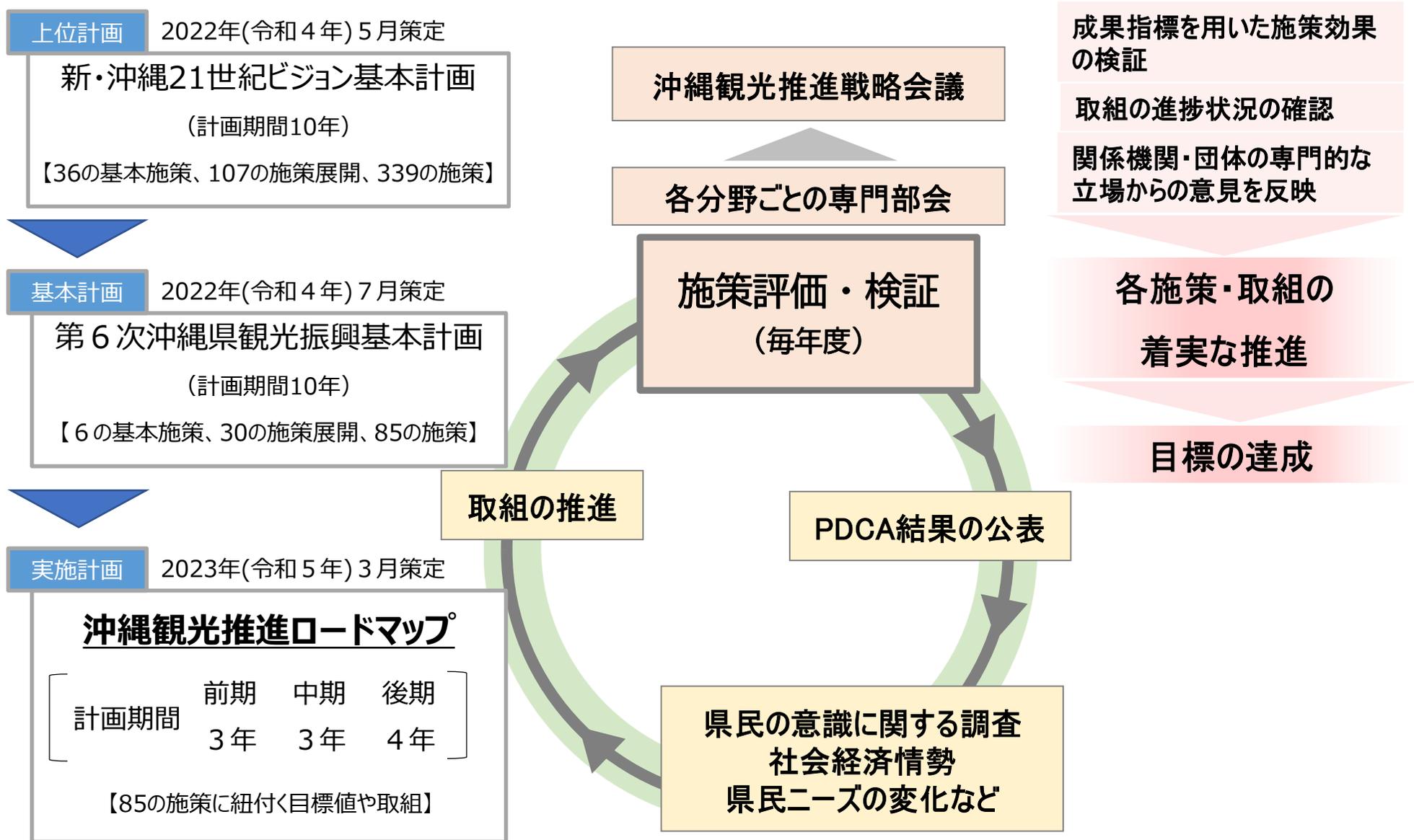
計画の目標値／OUTCOMES

社会の視点	経済の視点	環境の視点
<ul style="list-style-type: none"> 県民の幸せ感90% 観光事業者の満足度80% 観光客の満足度80% 	<ul style="list-style-type: none"> 観光収入1.2兆円 人泊数4,200万人泊 観光事業者20代平均年収280万円 役職者平均年収448万円 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー対応観光関連施設数100件 アメニティグッズ廃止宿泊施設数100件 「3010運動(7・ド・ロス削減)」を奨励しているホテル数100件

将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」／MISSION

県民、観光客、観光従事者が、自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの満足度を高めるとともに、環境容量の範囲において観光産業の成長と維持を目指すことで、沖縄経済を最適に活性化させる。





2 PDCAの実施結果について(対象年度:令和5年度)

① 「主な取組」の進捗について

ロードマップの成果指標に紐づく「主な取組」の年度別計画における活動指標(アウトプット)に対する活動実績の状況「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「大幅遅れ」、「未着手」の5区分

- 「順調」 : 年度別計画どおり又は前倒しで取組を推進している(達成割合※が90%以上)
- 「概ね順調」: 年度別計画と比較して概ね取組を推進している(達成割合※が75%以上~90%未満)
- 「やや遅れ」: 年度別計画と比較して若干の遅れがある(達成割合※が60%以上~75%未満)
- 「大幅遅れ」: 年度別計画と比較して大幅に遅れている(達成割合※が60%未満)
- 「未着手」 : 年度別計画に示した活動に未着手

※達成割合について
各取組に設定している活動指標(アウトプット)の当該年度の実績値と計画値を比較

② 「成果指標」について

ロードマップで示した課題に対する成果、県民生活の向上への効果等、沖縄県等が実施する活動の成果を表す。施策効果を検証する際の基準や物差しとしての役割を持つ指標として設定。

ロードマップでは、計画策定時の状況を表す「基準値(主に令和3年度)」と、前期(令和6年度)、中期(令和9年度)及び後期(令和13年度)の最終年度の「目標値」を掲げている。

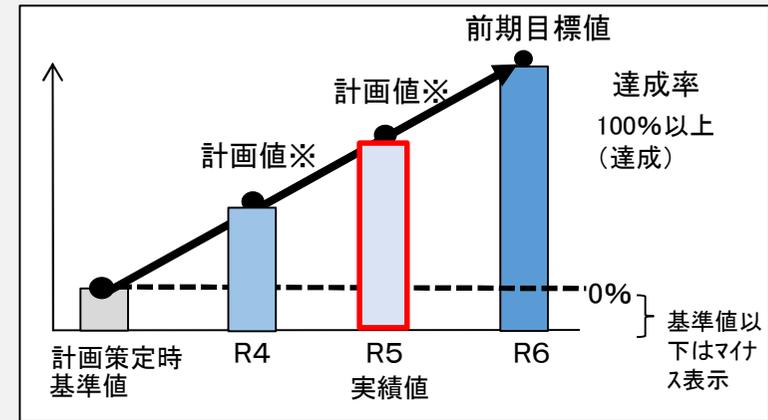
○成果指標の達成状況の判定方法

基準値とR5実績値(直近の値)の比較

- 「前進」 : 基準値と比較して良くなっている (達成率※が0%を超える指標)
- 「横ばい」 : 基準値と比較して変わらない(達成率※が0%)
- 「後退」 : 基準値と比較して悪くなっている(達成率※が0%未満)
- 「その他」 : 計画値設定が困難等の理由により比較ができない

※達成率について

令和5年度の実績値と計画値を比較して、どの程度達成したかを示した割合

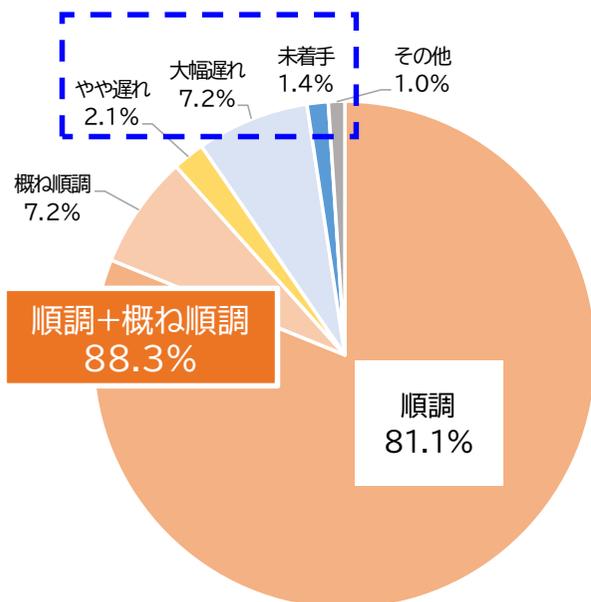
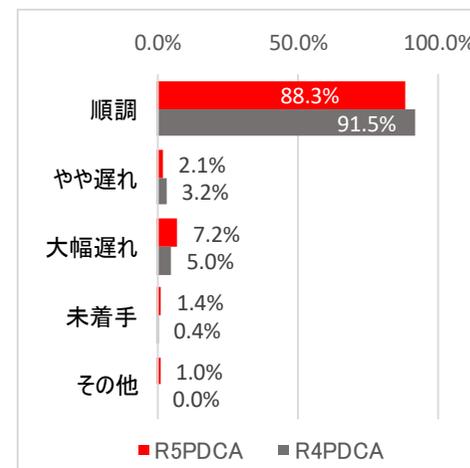
$$\text{達成率} = \frac{\text{R5実績値} - \text{基準値}}{\text{R5計画値} - \text{基準値}}$$


※計画値について R6目標値の達成に向けて、R4,5年度に達成すべきとして設定した値

3(1) 「主な取組」の進捗状況(全体)

- **257取組 (88.3%)** が「**順調**」または「**概ね順調**」となった。令和4年度比では、順調の割合が増加したものの、順調の合算割合は3.2pt減少した。
- 一方、「**やや遅れ**」、「**大幅遅れ**」、「**未着手**」となった取組は**31取組 (10.7%)** という結果となった。令和4年度比では、大幅遅れの件数が増加している。

PDCA 対象年度	主な取組数	主な取組の進捗状況						
		(順調合計)	順調		遅れ			その他 —
			順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手	
R5	291	257	236	21	6	21	4	3
	100.0%	88.3%	81.1%	7.2%	2.1%	7.2%	1.4%	1.0%
参考 R4	282	258	224	34	9	14	1	0
	100.0%	91.5%	79.4%	12.1%	3.2%	5.0%	0.4%	0.0%



【遅れや未着手の主な理由】

【関係機関との調整遅れ】

- 市町村や関係機関・団体との調整や連携した取組等を行っているものの、該当する協定の締結等までは至らなかった。

【事業者等を対象とした支援・補助等における適用数未達】

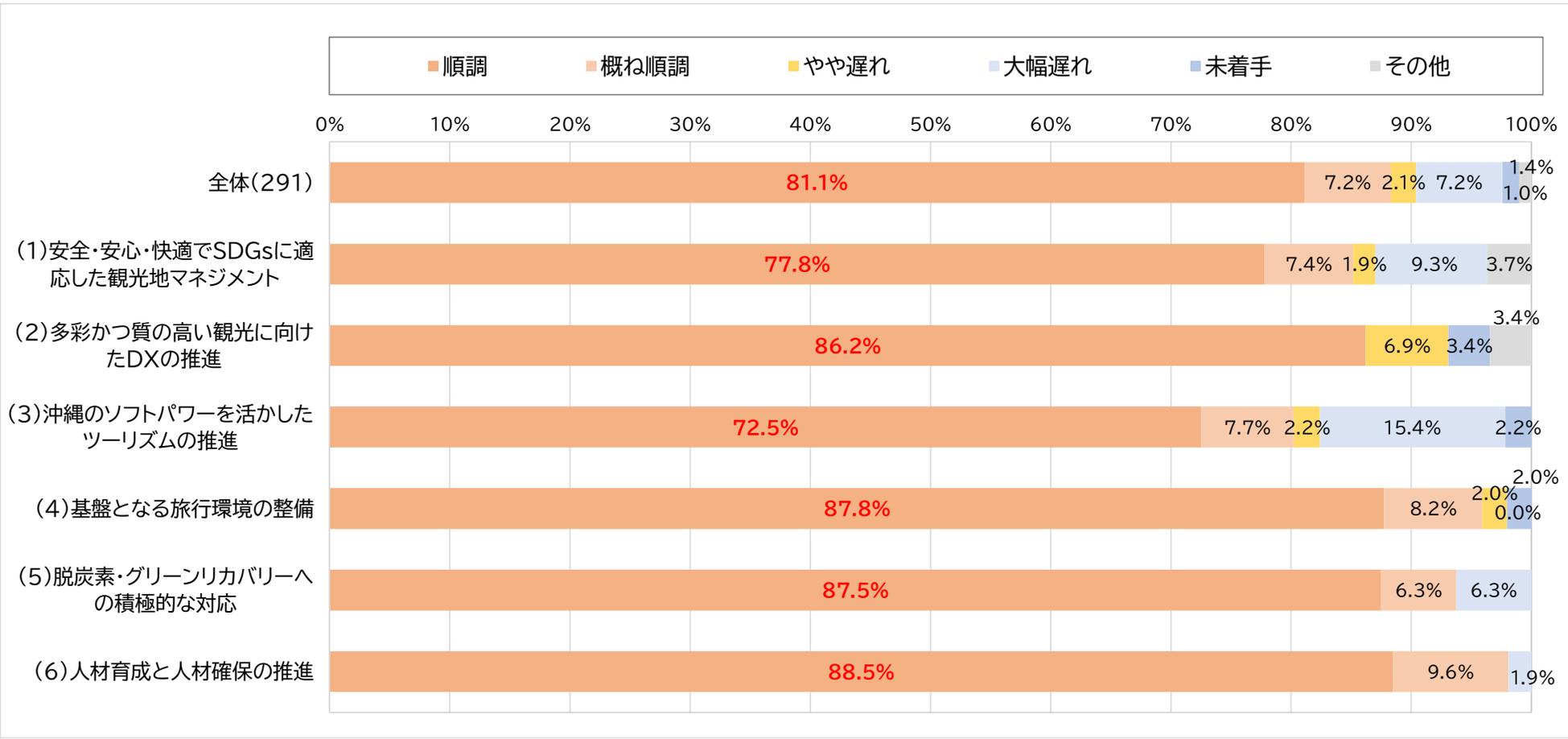
- 基礎調査や事業募集等を行っているものの、民間事業者等の活動に対する支援・補助等における適用数が目標に達しなかった。

【外部機関・団体の状況等】

- 関連する催事や展示会など主催者の意向による影響が大きく、実際の開催等に至らなかった。

3(2) 「主な取組」の進捗状況(6つの基本施策)

➤ 順調の合計割合（順調、概ね順調）が高いのは、（6）人材育成と人材の確保、（4）基盤となる旅行環境の整備、（5）脱炭素・グリーンリカバリーと続く。



4(1) 「成果指標」の達成状況(全体)

- **77指標 (77.0%) が前進となり、基準値を上回った。** 令和4年度比では、計画値を上回る指標はやや減少している。
- 「横ばい」、「後退」となった取組は**21指標 (21.0%)** という結果となった。

※1: 1施策に複数の成果指標を位置づけているものもあることから、指標の合計は100となる。

※2: 割合で算定されない指標は「達成」もしくは「未達成」とし、計画値と基準値を踏まえ、「前進」、「後退」に区分

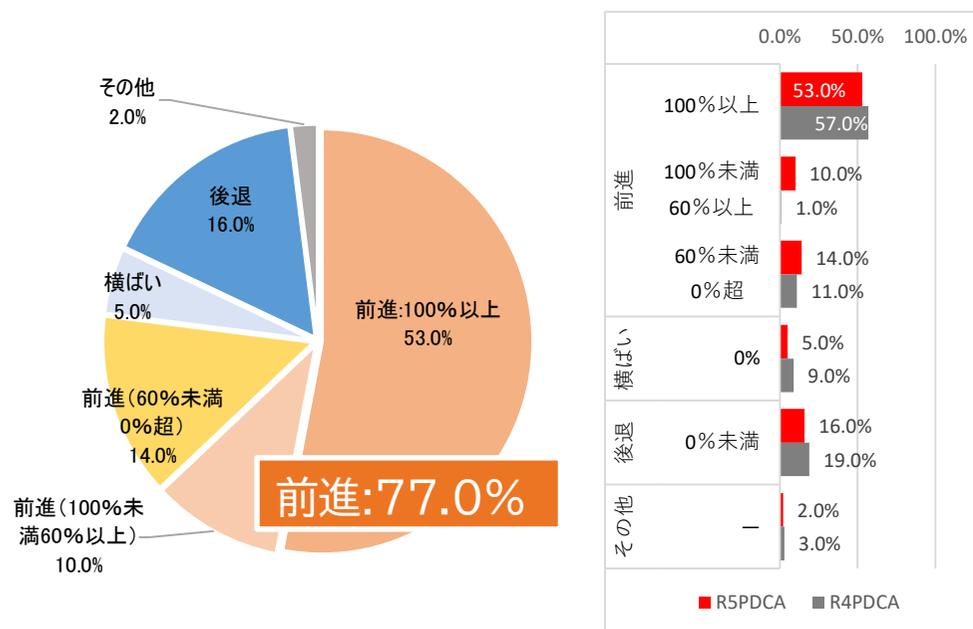
PDCA 対象年度	成果指標数 ※1	成果指標の達成状況							
		前進 合計	計画値に対する実績値の達成率				横ばい	後退	その他
			100% 以上 ※2	100%未満 60%以上	60%未満 0%超	0%			
R5	100	77	53	10	14	5	16	2	
	100.0%	77.0%	53.0%	10.0%	14.0%	5.0%	16.0%	2.0%	
参考 R4	100	69	57	1	11	9	19	3	
	100.0%	69.0%	57.0%	1.0%	11.0%	9.0%	19.0%	3.0%	

成果指標の前進要因の例

- 行動制限の解除や円安に伴う海外からの方面変更等の旅行需要の拡大により、来訪数や消費単価の増に繋がった。
- 国や県が推進している各種認証・認定制度について、セミナーの開催やアドバイザー派遣の取組の推進等により、制度への理解や取得によるメリットの認知に繋がった。
- 観光イベントや情報発信、研修・セミナー等の実施により、観光産業の重要性の認識や、観光客及び観光従事者の満足度の高まりに繋がった。

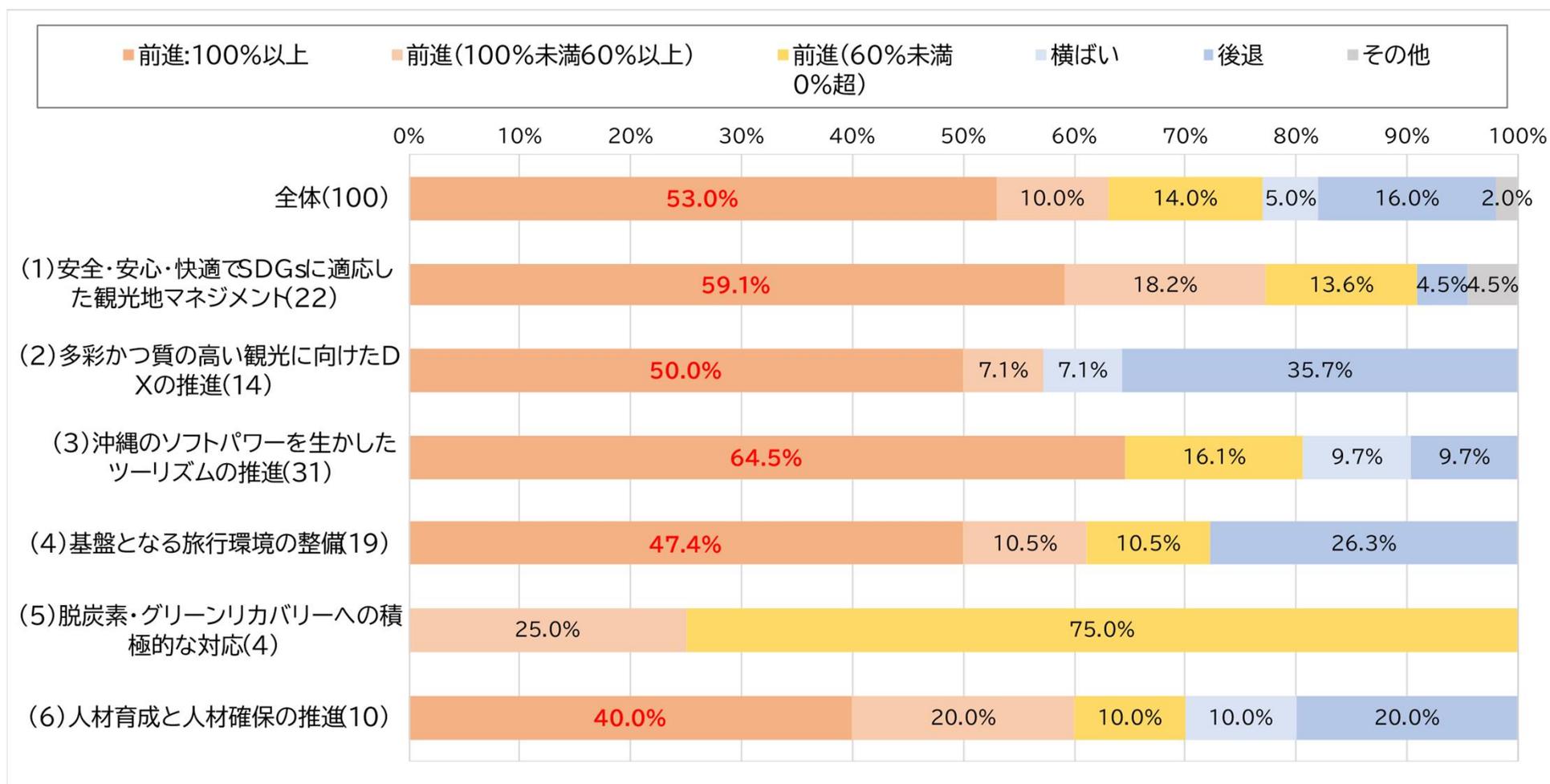
成果指標の後退要因の例

- コロナ禍後の観光需要に対して、人手不足、貸切バスの不足など受入体制の整備が追い付いていない。
- 少子化など社会環境・経済情勢の変化による影響のほか、他地域との競争が激しくなっている。
- イベント参加者以外への普及が不十分。



4(2) 「成果指標」の達成状況(6つの基本施策)

- 前進(0%超)の割合が高い基本施策としては、(5) 脱炭素・グリーンリカバリー、(1) 観光地マネジメント、(3) ソフトパワーを生かしたツーリズムの推進、と続く。
- (2) DXの推進は、前進の割合が約6割にとどまる。

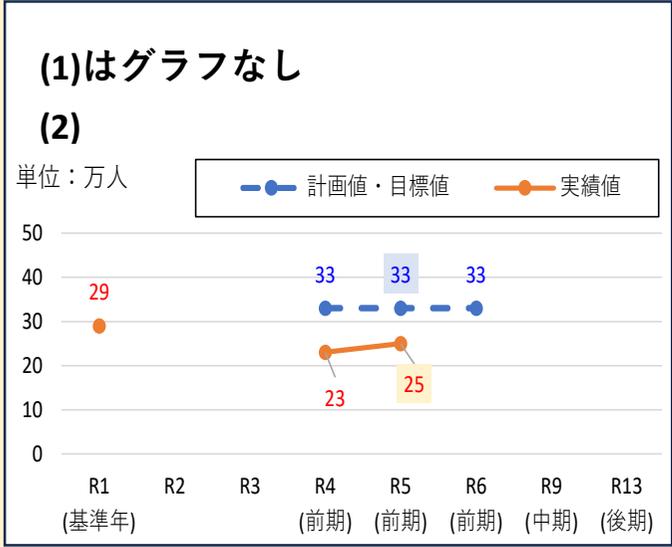


5 PDCA検証結果の事例

施策 1-エ-① 世界自然遺産や自然公園の適正管理	9
施策 1-オ-① 移動時のユニバーサルデザインの推進	10
施策 1-オ-② 宿泊施設におけるユニバーサルデザインの推進	10
施策 1-オ-③ 体験等サービスにおけるユニバーサルデザインの推進	10
施策 2-イ-④ リアルタイムな観光情報の提供	11
施策 2-エ-① 観光収入の確保	12
施策 3-ウ-③ 県産品の利用や地産地消の推進	13
施策 3-エ-① MICE振興とビジネスツーリズムの推進	14
施策 3-カ-② 沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信	15
施策 4-ア-① 那覇空港のさらなる機能強化	16
施策 4-イ-① 那覇港の人流機能の強化	17
施策 4-ウ-② 観光二次交通の利用促進	18
施策 5 - ④ カーボンニュートラルの推進	19
施策 6-ア-① 多彩で質の高いサービスを提供できる観光人材の育成・確保	20
施策 6-イ-② 雇用の安定化	21

施策 1-I-① 世界自然遺産や自然公園の適正管理 環境

成果指標 世界自然遺産関係自治体の入域観光客数 (1)【国頭村、東村、大宜味村】 (2)【西表島】



	(1)	(2)
基準値	—	29万人 (R1)
計画値 (R5)	—	33万人以内
実績値 (R5)	—	25万人
達成率	—	達成
達成状況	—	前進

主な取組	全5取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
		4	1	0	0	0

世界自然遺産保全・適正利用推進事業（観光客の受入容量のデータ分析） 順調

《活動概要》
 沖縄島北部及び西表島において地域部会を各2回開催し、地域別行動計画に位置付けられた各取組について進捗状況を把握するなどして、同計画の検証や見直しを行った。

《取組の検証及び改善案》
 世界遺産委員会による審議結果次第で、適正な保全・管理のためにさらなる対応を求められる可能性がある。必要に応じて各地域部会のネットワークを活用し、関係機関と連携しながら対応していく。

国、教育機関、研究機関等と連携したモニタリング調査の実施 順調

《活動概要》
 世界自然遺産地域モニタリング計画に掲げる指標に沿って関係機関が連携して沖縄島北部と西表島の両地域でモニタリング調査に取り組んでおり、違法採取トラップ数や、マングース・ノネコ等の外来種生息状況などを調査した。

《取組の検証及び改善案》
 ネコの生息状況や交通事故発生状況等の指標では、遺産価値に一定の悪影響またはその恐れが認められると評価された項目もあったことから、遺産地域の保護管理に効果的・効率的な手法について、有識者等からの助言を踏まえ検討する。

県民や観光客への生物多様性の保全やマナー・ルールの啓発 順調

《活動概要》
 世界自然遺産の概要や遺産としての価値、貴重な自然環境を次世代へ継承するための取組や来訪する際のマナー等についてホームページで情報発信した。

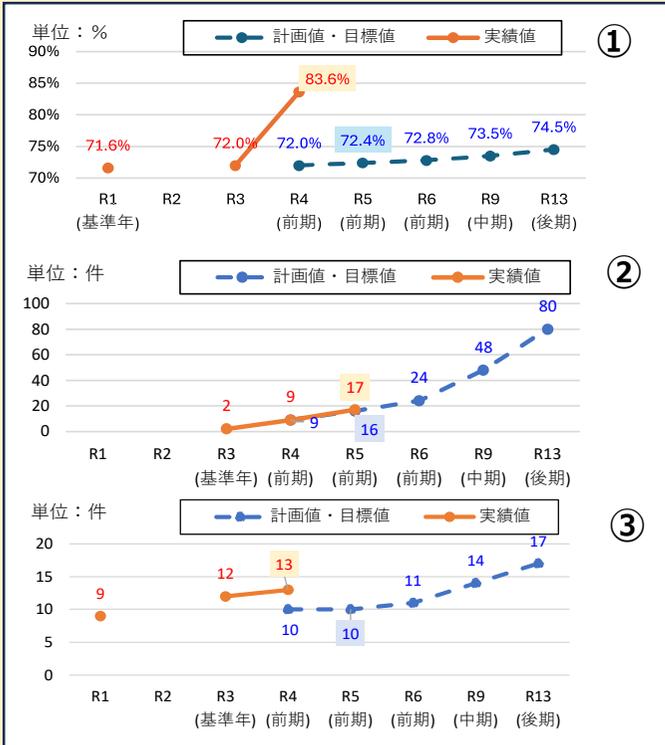
《取組の検証及び改善案》
 世界自然遺産の価値とその保全の重要性等について県内外へ発信し、認知度の向上及び理解醸成に取り組む必要があることから、引き続き図画コンクールや環境教育の開催等に取り組んでいく。

施策 1-オ-① 移動時のユニバーサルデザインの推進 1-オ-② 宿泊施設におけるユニバーサルデザインの推進
1-オ-③ 体験等サービスにおけるユニバーサルデザインの推進

社会

成果指標

- ① 路線バス全体におけるノンステップバスの普及割合 ② 観光庁認定「心のバリアフリー」認定ホテル数
③ 体験型サービス等の障がい者等受入可能施設数



主な取組

全4取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
	3	0	0	1	0

公共交通利用環境整備（シームレスな陸上交通体系構築事業）

大幅遅れ

《活動概要》

バス事業者におけるノンステップバス2台の導入を支援した。

《取組の検証及び改善案》

大型車両のみならず中型・小型車両も補助対象とするなど、補助対象の拡充を検討する

ユニバーサルツーリズムの推進

順調

《活動概要》

高齢者及び障害者等の受入環境整備にかかるセミナー及びアドバイザー派遣を7回実施した。

《取組の検証及び改善案》

ユニバーサルツーリズムの主な対象となる高齢者、障害者の割合は国内総人口の3割以上を占めており、今後はインバウンドの回復による増加も想定されていることから、セミナーやアドバイザー派遣事業を充実させ、観光関連事業者の受入体制強化を図るとともに、PRツールの多言語化や既存のポータルサイトのアクセシビリティ向上により、誰もが容易に情報収集できるように改良を進める。

ユニバーサルデザインの推進

順調

《活動概要》

宿泊事業者、観光施設事業者、交通事業者等を対象にアンケートを実施し、ユニバーサルツーリズムに取り組むに当たっての課題の調査のほか、「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の認定取得意向を把握し、今後の認定促進を図った。

《取組の検証及び改善案》

観光需要回復に伴う業界の人手不足が課題となっているなか、調査に係る事業者の負担軽減を進めるため、セミナー案内と合わせた配信等行う。

	①	②	③
基準値	71.6% (R1)	2件 (R3)	9件 (R1)
計画値(R5)	72.4%	16件	10件
実績値	83.6% (R4) ※	17件 (R5)	13件 (R4) ※
達成率	1,500.0%	107.1%	300.0%
達成状況	前進	前進	前進

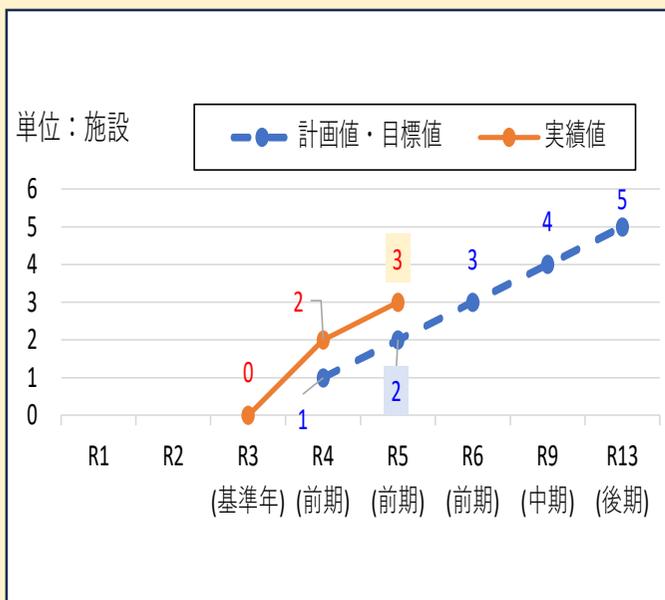
※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

施策 2-イ-④ リアルタイムな観光情報の提供

経済

成果指標

リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数



基準値	0施設 (R3)
計画値 (R5)	2施設
実績値 (R5)	3施設

達成率	達成状況
100%	前進

主な取組

全3取組

順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
3	0	0	0	0

観光情報基盤構築事業

順調

《活動概要》

観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、観光ビーチ情報を208件収集し、統一的な様式の基に整備した。

《取組の検証及び改善案》

那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、引き続き、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。

外国人観光客向けリアル情報の発信

順調

《活動概要》

多言語コンタクトセンターを運営し、電話・SNS・チャットボット等により、情報発信を実施した。

《取組の検証及び改善案》

外国人観光客数は回復してはいるものの、コロナ禍以前の対応件数に及んでいないことから、外国人観光客への県内情報、旅程相談、観光案内、通訳サービス、災害時の対応サポート等の機能を、「観光案内所」と統合して認知度を向上させることで対応件数を増加させ、自動学習の促進化を図る。

オープンデータ活用基盤の構築及び活用促進

順調

《活動概要》

沖縄オープンデータプラットフォームに官民のオープンデータ170件を収集・掲載するとともに、データ利活用セミナー等を8回開催し、企業26社に対してデータ利活用・実証支援を行った。

《取組の検証及び改善案》

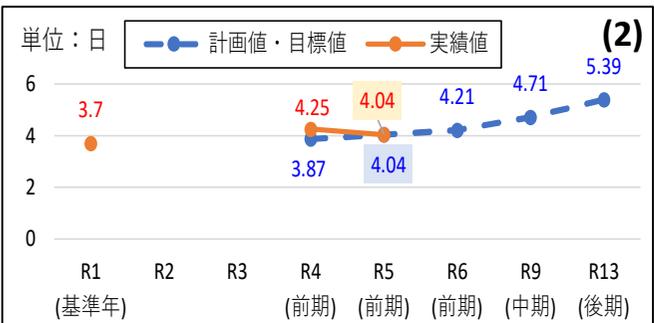
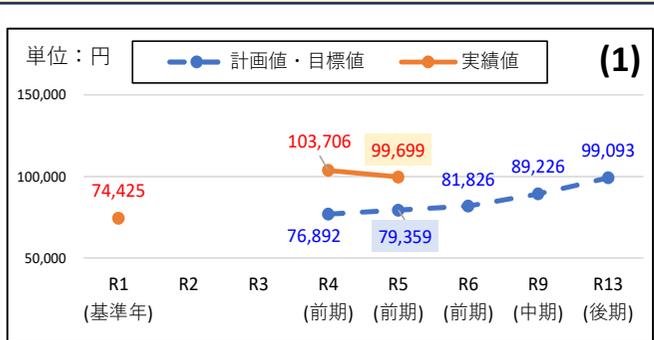
個別企業のデータ利活用にとどまることなく、業界や産業に広げていく必要があり、普及啓発、取組企業の更なる掘り起こしを図るとともに、広く参加者を募るデータ利活用イベント（ハッカソン）を開催する。

施策 2-工-① 観光収入の確保

経済

成果指標

(1) 観光客 1 人当たりの県内消費額 (2) 滞在日数



(1) (2)

基準値	74,425円 (R1)	3.70日 (R1)
計画値 (R5)	79,359円	4.04日
実績値 (R5)	99,699円	4.04日
達成率	512.2%	100.0%
達成状況	前進	前進

主な取組

全6取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
	6	0	0	0	0

沖縄観光コンテンツ開発支援事業

順調

《活動概要》

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

《取組の検証及び改善案》

多彩で質の高いコンテンツ開発の自走化や、継続して販売できる販路の確保を図る必要があることから、事業実施主体の市町村、観光協会との連携、商談会当への積極的な参加を行っていく。

海外富裕層向けプロモーション事業

順調

《活動概要》

国内及び海外の富裕層専門旅行業者各 1 社（計 2 社）をFAMツアーに招聘し、県内観光関連事業者が持つ高付加価値旅行商品の発掘及び当該事業者を通じた富裕層向けプロモーションを実施した。

《取組の検証及び改善案》

SDGs や自然体験、健康といったテーマ性のある旅行に対する需要の増加、沖縄でしか得られない体験のニーズへの対応とともに、国内他地域との競争が激しくなっているため、高付加価値な旅行商品の多様化や、富裕層向けの情報発信、販売機会の確保に継続して取り組む。

国内富裕層向けプロモーション事業

順調

《活動概要》

国内富裕層向け雑誌への特集記事出稿 1 件を実施、富裕層受入に係るコンテンツ発掘及び販路拡大に向けた連携強化のための県内観光関連事業者ネットワーク会議を 4 回開催した。

《取組の検証及び改善案》

SDGs や自然体験、健康といったテーマ性のある旅行に対する需要の増加、沖縄でしか得られない体験のニーズへの対応とともに、国内他地域との競争が激しくなっているため、高付加価値な旅行商品の多様化や、富裕層向けの情報発信、販売機会の確保に継続して取り組む。

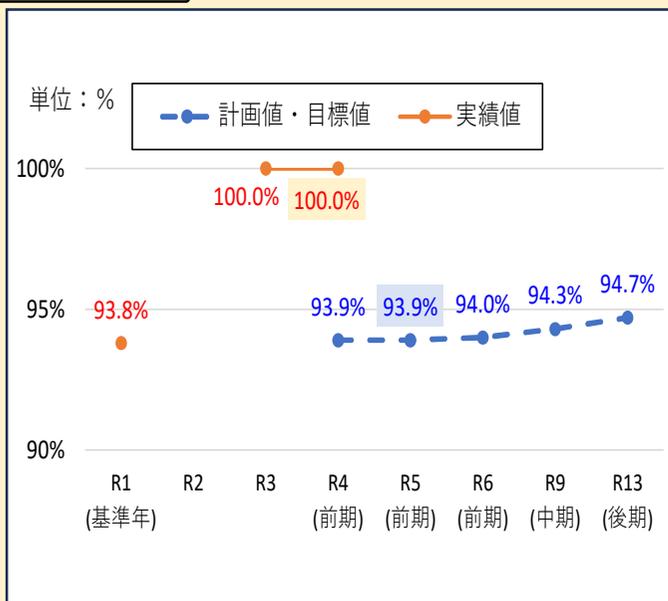
施策 3-ウ-③ 県産品の利用や地産地消の推進

社会

経済

成果指標

宿泊施設において提供される食事で、県内で生産・製造された食料品を利用している施設割合



基準値	93.8% (R1)
計画値 (R5)	93.9%
実績値 (R4)	100.0%※

達成率	達成状況
4,650.0%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

主な取組

全2取組

順調

概ね順調

やや遅れ

大幅遅れ

未着手

2

0

0

0

0

「宿泊施設において提供される食事で、県内で生産・製造された食料品を利用している施設」に関する調査

順調

《活動概要》

沖縄県内の宿泊施設に対しアンケートを1回実施し、施設の提供する食事の地産地消の現状、傾向を調査した。

《取組の検証及び改善案》

回答数のさらなる増加に向けた調査内容や方法、時期の工夫や検討を行う必要がある。WEB上での回答の拡充や、調査時期の見直し、調査項目の簡素化など検討する。

県内ホテル等での地産地消の推進

順調

《活動概要》

県産食材のマッチングを希望するホテルを募り、希望のあった県内ホテル18施設に対し、県産食材4品目（具志頭ピーマン、シークワサー果汁、島らっきょう、パインアップル）のマッチングを実施した。

《取組の検証及び改善案》

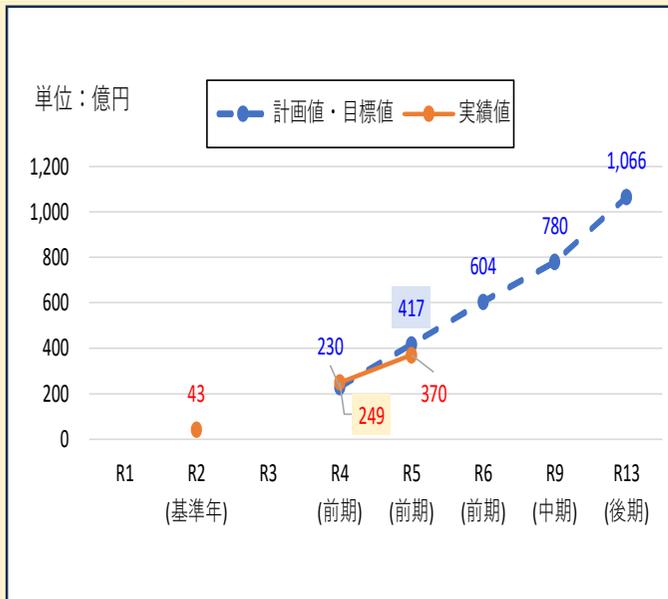
「安定供給できない」、「県産食材だけで単一品目の必要量を確保できない」、「品質が安定しない」といった課題があることから、限られた供給量においても、宿泊施設の魅力向上に繋がる取組（期間限定メニューでの提供など）を促進することや、食材の安定供給に向け産地・生産者、流通事業者との情報共有が図られるような取組が必要である。

施策 3-I-① MICE振興とビジネスツーリズムの推進

経済

成果指標

MICE開催による経済効果（直接効果）



基準値	43億円 (R2)
計画値 (R5)	417億円
実績値 (R4)	249億円※
参考値 (R5)	370億円※
達成率	達成状況
55.1%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

※検証後に確定したR5実績値を参考値として記載。

主な取組

全6取組

順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
2	1	0	3	0

OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化

大幅遅れ

《活動概要》

国内外での7つのMICE商談会・見本市に参加した。また、ウェビナーや個別勉強会を実施し、沖縄でのMICE開催誘客に努めた。

《取組の検証及び改善案》

商談会への参加だけでなく、継続的な情報発信やフォローアップが重要となることから、オンラインでのウェビナーを活用し、商談会に参加できなかった層へのアプローチを目指すほか、商談会後のフォローアップ強化、大都市以外で開催される案件誘致の効果的手法を検討する。

MICE誘致・開催・歓迎支援の実施(インセンティブ、コンベンション)

大幅遅れ

《活動概要》

コンベンション主催者等への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。

《取組の検証及び改善案》

学会の開催は大学教授が主催・サポートすることが多いため、新規案件獲得のため、定期的な訪問等営業活動を強化する。また、教育旅行シーズンにおいては貸切バスの確保が困難となる事例が増えていることから、バス事業者や関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。

国営沖縄記念公園（海洋博覧会地区内施設）の管理運営

概ね順調

《活動概要》

指定管理者において、沖縄観光コンベンションビューローが主催するMICE商談会に参加し、誘致活動を行った。黒潮の海大水槽前でのユニークベニューパーティーを提供した。

《取組の検証及び改善案》

これまでMICEの受入期間を秋冬期のみとしていたが、利用者の要望を受け、繁忙期を除いて通年受入れている。引き続き、関係機関と連携した誘致活動や情報発信を行っていく。

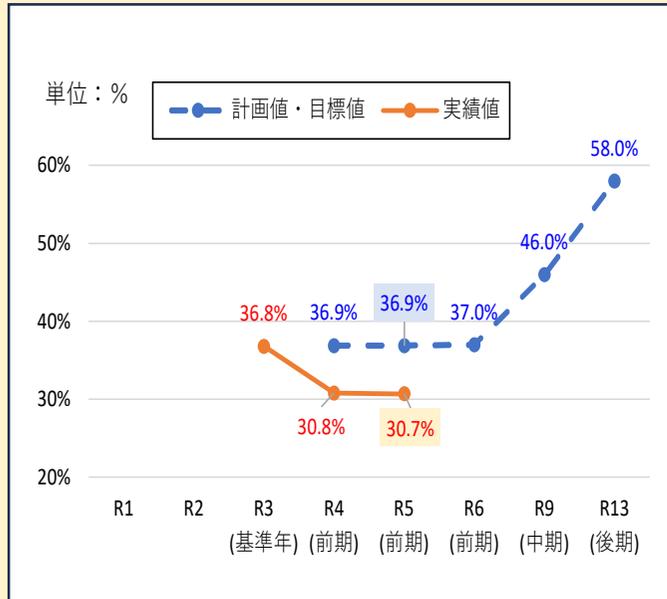
施策 3-カ-② 沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信

社会

経済

成果指標

県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率



基準値	36.8% (R3)
計画値 (R5)	36.9%
実績値 (R5)	30.7%

達成率	達成状況
-4575.0%	後退

主な取組

全3取組

順調

概ね順調

やや遅れ

大幅遅れ

未着手

2

1

0

0

0

国内外の空手愛好家の受入体制強化

順調

《活動概要》

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、県内町道場と空手家とのコーディネート業務を行った。国内外からの311件の問合せに対応した他、沖縄空手に関する情報発信や県内道場・空手ガイド等の情報更新等を行い、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組んだ。

《取組の検証及び改善案》

沖縄空手に関するWEBコンテンツが複数あるため、使い分けがわかりにくくなっているため、他事業とも連携し、各WEBコンテンツの対象者や内容等が一目でわかるような構成を検討し、改善を図る。

沖縄空手会館の利活用促進

順調

《活動概要》

企画展の開催と併せて、オープニングイベントや展示解説会等を開催した。専門性が高い内容であるため、監修委員会を開催し、専門家の意見を取り入れながら実施した。

《取組の検証及び改善案》

幅広い層に関心を持ってもらうために、わかりやすいパネルや資料の作成、広報活動の強化を図る。

沖縄空手の魅力発信

概ね順調

《活動概要》

東京都、千葉県、京都府の3都府県において、沖縄に関心がある層の来場が多数見込まれる観光・物産展を実施している会場で空手演武ステージを実施した。

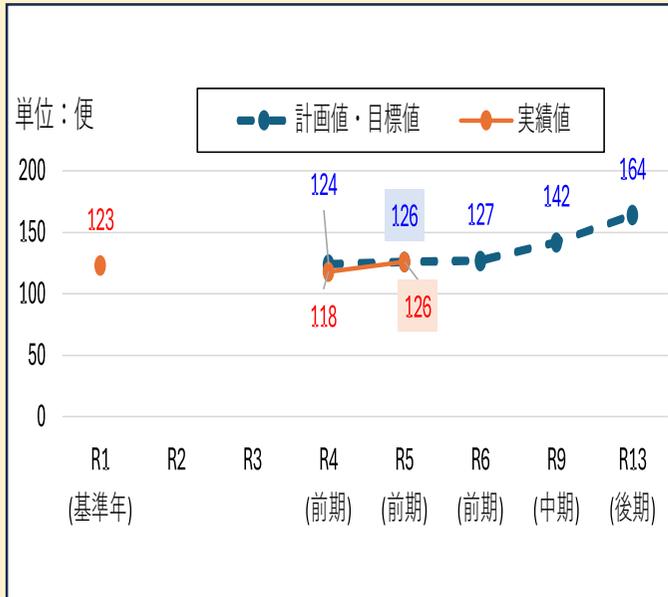
《取組の検証及び改善案》

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントへの参加回数が制限されたが、今後は回数を増やす。また、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動が不十分であるため、SNS広告等を活用して県外向けに幅広く情報発信する。

施策 4-ア-① 那覇空港のさらなる機能強化

経済

成果指標 那覇空港の県外就航便数



基準値	123便 (R元)
計画値 (R5)	126便
実績値 (R5)	126便

達成率	達成状況
100.0%	前進

主な取組

全 5 取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
	4	—	1	—	—

国内需要安定化事業

順調

《活動概要》

需要回復期の誘客につなげる為デジタル媒体を中心としたメディア発信等を実施したほか、沖縄観光のブランドイメージを発信する取組をメディア等を活用して実施した。

《取組の検証及び改善案》

新型コロナウイルス感染症の影響により搭乗率の減少が見られることから、全国各地でのイベント出展や、WEB等を活用した広告配信等、積極的なプロモーション、情報発信の強化に努める。

利便性・安全性向上に係る施設整備

順調

《活動概要》

航空事業者において、手続きの迅速化を図るため、国内線にスマートレーンを整備したほか、NABCOにおいて混雑解消のための国際線保安検査場拡張整備の実施等に取り組んだ。

《取組の検証及び改善案》

関係機関で意見交換等を実施しながら那覇空港の利便性向上を図る必要があることから、公共交通利用案内サインの充実化、セキュリティ強化のためのAI監視システムの導入検討等を行う。

那覇空港立体駐車場の拡張整備

やや遅れ

《活動概要》

那覇空港チェックインロビー側における乗降場のWデッキ延長工事が令和6年度末に終了し、その後駐車場拡張の工事を行うことから、NABCOにおいて最終調整を実施した。

《取組の検証及び改善案》

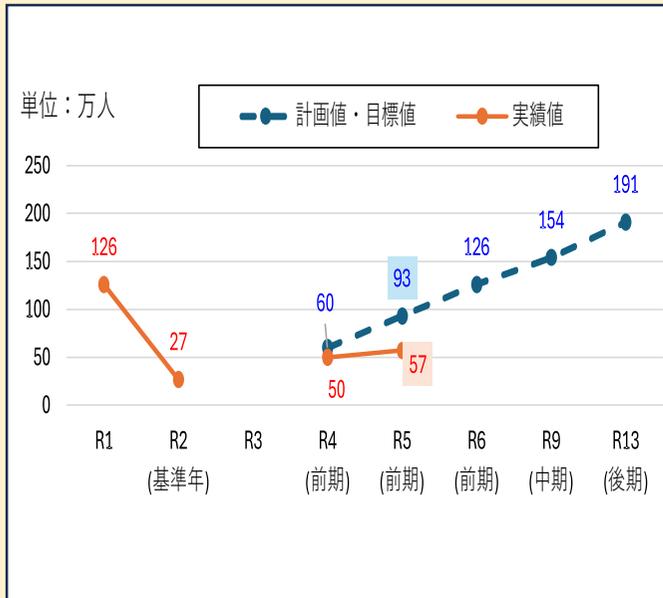
新型コロナウイルス感染症の影響や他工事の影響により遅れているものの、令和6年度に着工予定であることから、工期や整備計画について情報収集に努める。

施策 4-イ-① 那覇港の人流機能の強化

経済

成果指標

那覇港の年間旅客数



基準値	27万人 (R2)
計画値 (R5)	93万人
実績値 (R5)	57万人

達成率	達成状況
45.5%	前進

主な取組

全2取組

順調

概ね順調

やや遅れ

大幅遅れ

未着手

1

1

-

-

-

戦略的クルーズ観光推進事業

順調

《活動概要》

日本国内のほか、台湾、中国、韓国、欧州、北米エリアに共同広告などを実施したことに加え、中国、韓国、欧州などの展示会へ4回出展した。

《取組の検証及び改善案》

クルーズ船の寄港が段階的に回復する中、ボランティアや案内人などの人材不足、バスやタクシー待ちなどの2次交通が課題となっていることから、各港湾管理者・自治体・協議会と連携したボランティア人材の確保、SNSを活用したタクシー会社への情報発信などに取り組み、クルーズ船誘致の環境を整える。

クルーズ船の受入体制の構築

概ね順調

《活動概要》

国直轄による、第2クルーズバース背後ふ頭用地の埋立等の早期整備に向け、港湾管理者である那覇港管理組合と国とで密に調整を行った。

《取組の検証及び改善案》

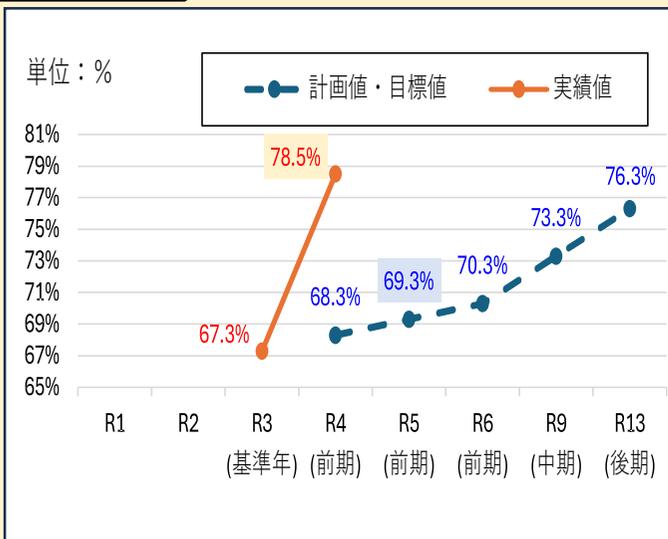
第2クルーズバースの整備は国直轄のため、港湾管理者である那覇港管理組合と国との密な調整が必要であることから、早期の供用開始に向け、関係者間での連携強化を図っていく。

施策 4-ウ-② 観光二次交通の利用促進

経済

成果指標

旅行中に利用した公共交通機関の割合



基準値	67.3% (R3)
計画値 (R5)	69.3%
実績値 (R4)	78.5%※

達成率	達成状況
560.0%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

主な取組

全7取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
	7	0	0	0	0

沖縄都市モノレール輸送力増強事業

順調

《活動概要》

令和5年度は、3両編成車両2編成を運行開始し、輸送力を増強することで、利用者における定時定速性の確保および利便性の向上に取り組んだ。

《取組の検証及び改善案》

新車両基地へ車両を引き込むための分岐器設置工事による、運行停止に伴うリスク要因の把握に努めるとともに、できる限り利用者に運行停止の影響が生じないよう、停止期間の短縮や代替輸送策の調整等を行う。

基幹バスシステムの導入（交通体系整備推進事業）

順調

《活動概要》

伊佐以北へのバスレーン延長に向け、区間における交通環境の変化及び運転手不足による影響分析を行い、その効果や対策の実施等に関する内容を含め協議会を2回開催し、議論した。

《取組の検証及び改善案》

協議会において、今後のバスレーン延長に向けて、実証実験等も含めた検討が必要ではないかとの意見が示されており、他地域の事例を参考にしながら、実証実験等の実施可能性について検討する。

自転車利用環境の整備

順調

《活動概要》

県管理道路において、自転車通行空間の計画延長0.3kmに対し、整備を0.7km実施した。

《取組の検証及び改善案》

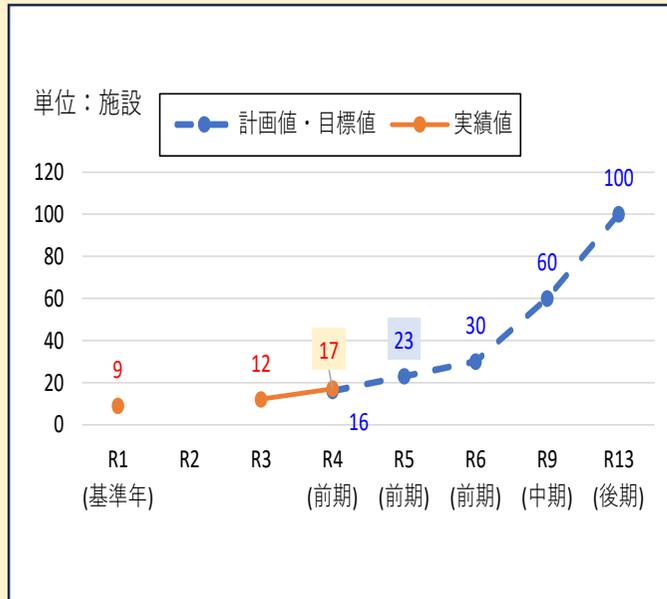
既に策定されている自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画を基に、国や市町村と連携して自転車通行空間の整備を行う。

施策 5-④ カーボンニュートラルの推進

環境

成果指標

観光関連施設等における再生可能エネルギー対応施設数



基準値	9施設 (R1)
計画値 (R5)	23施設
実績値 (R4)	17施設 ※

達成率	達成状況
57.1%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

主な取組

全4取組

順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
3	0	0	1	0

地域特性に合ったクリーンエネルギーの導入拡大

順調

《活動概要》

クリーンエネルギーの導入促進のため、県内に賦存する木くず等バイオマス資源の既存火力発電所での混焼利用の可能性について調査した。

《取組の検証及び改善案》

調査の結果、現在の製造方法では燃料利用ができないことが確認されたため、適合する手法の実証を行う民間事業者への支援を行う。また、一般廃棄物処理施設にヒアリングした結果、県内未利用木くず集材料が想定より少なかったため、他施設へのヒアリングなどにより実態把握に努める。

インセンティブの導入等

順調

《活動概要》

再エネ設備等の税制上の特例措置(産業イノベーション促進地域制度)を活用し、固定資産税減免等の活用を促進した。また、民間事業者が行う太陽光発電事業に対し、導入支援を実施した。

《取組の検証及び改善案》

クリーンエネルギーの導入拡大に向けて、民間事業者等の再エネ関連設備等に係る特例措置の活用促進の加速化を図る必要があることから、次年度以降も相談窓口等を活用し、情報発信などの強化を図る。また、一部離島では、太陽光発電の急速な普及により、設置や維持管理を担当する施工者が足りていない状況があるため、離島に存在する太陽光発電設備の設置や維持管理を担える施工者に対して、再エネ導入のノウハウ等を発信する。

EVバスの導入促進

大幅遅れ

《活動概要》

小型EVバス車両1台及び専用充電設備1基に対する補助を行った。

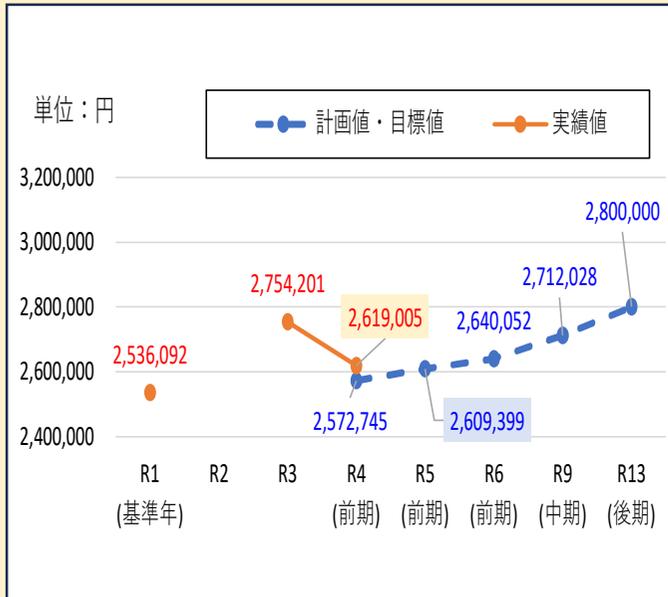
《取組の検証及び改善案》

メーカーから年度内に車両や充電設備を調達できず、補助金申請に至らなかった事例があったことから、事業者やメーカーなどへの周知徹底、申請手続きに要する時間短縮のため、早期の周知や申請手続きに係る助言を行う。

施策 6-ア-① 多彩で質の高いサービスを提供できる観光人材の育成・確保

社会 経済

成果指標 観光事業者（正社員・正規職員）20代平均年収



基準値	2,536,092円 (R1)
計画値 (R5)	2,609,399円
実績値 (R4)	2,619,005円※

達成率	達成状況
113.1%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

主な取組	全11取組	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
		9	2	0	0	0

スキルアップ研修の実施

順調

《活動概要》

令和4年度の研修参加者へのアンケート調査から得られたニーズや課題を整理し、求められているスキルや知識に基づいた研修プログラムを設計し、階層別研修を32回実施した。

《取組の検証及び改善案》

観光業界では人手不足の状況が続いていることから、引き続き人材の定着を支援していく必要があり、業界の課題やニーズに応じたスキルアップ研修を実施する。

新規学卒者向け就職支援

順調

《活動概要》

県内大学等7校に就職支援コーディネーター7名を配置し、455名の学生に対して、就職相談や面接指導等の個別支援を行った。

《取組の検証及び改善案》

就職活動スケジュールが全国的に早期化傾向にあることから、卒業年次でない学生に対し、合同就職説明会への参加や企業の情報収集、自己分析等、就職に向けた準備を早期に始めるように促す。また、年度当初から専任コーディネーターを各大学等に配置し、学生への支援体制を整える。

観光人材確保支援事業

概ね順調

《活動概要》

観光事業者と求職者のマッチングを促進したほか、労働生産性向上支援に係る補助金の申請について、事業説明会、相談会等の場や観光関連団体を通じた呼び掛け等で13件の採択に繋がった。

《取組の検証及び改善案》

観光業界においては、コロナ禍における離職と需要の回復による人手不足が続いており、企業と求職者のマッチング機会を創出していく必要があることから、合同就職説明会、職場見学バスツアー、職業体験イベント等の実施により、観光業界の持続的発展に繋がる人材確保・定着を図る。

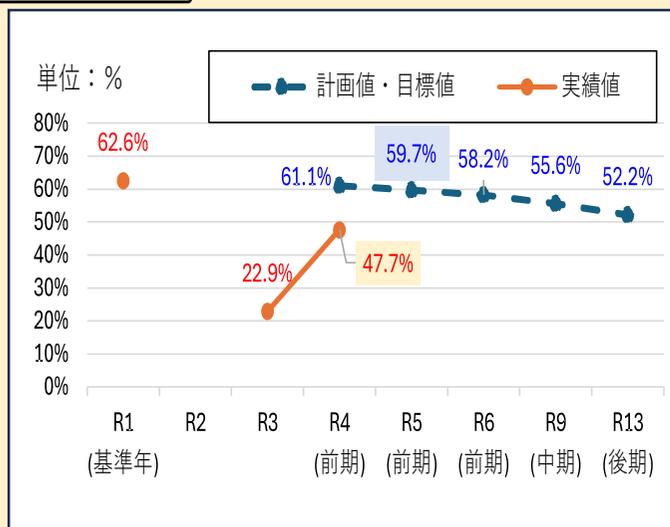
施策 6-イ-② 雇用の安定化

社会

経済

成果指標

観光事業者（正社員・正規職員）新規学卒採用後3年以内離職率



基準値	62.6% (R1)
計画値 (R5)	59.7%
実績値 (R4)	47.7%※
達成率	達成状況
508.0%	前進

※PDCA検証時にはR5実績値が確定していなかったため、達成率や達成状況はR4実績値との比較。

主な取組

全7取組

順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
7	0	0	0	0

非正規労働者処遇改善事業

順調

《活動概要》

企業13社に社会保険労務士等を派遣して就業規則の見直し等を行い、非正規労働者への労働条件通知書の交付を支援した。

《取組の検証及び改善案》

非正規労働者が働きやすい職場環境を整えるため、企業への専門家派遣に当たっては、企業ごとの課題に即したきめ細かな支援を行っていく。

- ・若年者の職場定着支援（企業への個別支援）
- ・若年者の職場定着支援（セミナーの開催）

順調

《活動概要》

企業の人材確保・職場定着の取組を支援するため、企業の個別相談や専門家派遣、採用力向上・雇用管理改善等のテーマのセミナーを開催した。

職場定着に関しては139件の個別相談、6社への専門家派遣を行うとともに、セミナーとして、労働環境、組織づくり、コミュニケーション、メンター制度、人事評価制度などをテーマに9回開催し、延べ71社が参加した。

《取組の検証及び改善案》

企業からの相談内容では職場定着に関するものが多く、その中では、職場定着に係る社内整備の時間がとれない、課題に着手できない等の意見があった。こうした成果と課題を踏まえて、本取組を見直し、他事業で実施している人材育成の手法を習得する講座や、正規雇用化促進に向けた専門家派遣、経営者向けセミナーなどの取組の充実を図っていく。

6 検証結果からみえた課題と対応案

(1) 検証結果から見えた課題	23
(2) 今後の対応案	24

6(1) 検証結果から見た課題

- **周知・啓発：**
 - ・ 認証制度や支援策、県の方針等の認知度不足
- **関係機関との連携：**
 - ・ 事業推進において、関係機関との調整・連携が不十分
- **人材確保：**
 - ・ コロナ禍後の観光需要に対応可能な人材の不足
- **観光客のニーズ：**
 - ・ 多様化する観光客のニーズ（多言語対応、ベジタリアン対応など）への対応
- **他地域との競争：**
 - ・ 誘致活動やイベント開催において、他地域との競争が激化
- **DX推進：**
 - ・ デジタル技術の活用やDX推進による業務効率化、サービス向上
- **「成果指標」と「主な取組」のミスマッチ：**
 - ・ 「成果指標」の達成状況は低いが、「主な取組」の多くが「順調」の評価であるなど、ミスマッチが生じている施策がある。

6(2) 今後の対応案

周知・啓発の改善、関係機関等との連携強化

- 周知・啓発の対象や範囲等を分析した効果的な周知、広報、情報発信に取り組む。
- 関係機関等との情報共有や調整の仕組みの構築・強化を図る。

人手不足・離職率低減の対策

- 観光需要の更なる増大に伴い、人手不足は今後も続くと考えられる。制度は運用されているものの、一部は要件が合致しない内容となっている。引き続き、関係機関とも連携し、制度の内容見直しを図りながら、人手不足対策に取り組む。

多様化するニーズへの対応、DXの推進

- 拡大するインバウンドへの対応として、多言語対応やベジタリアン、ハラールといった食文化に関する飲食店への専門家派遣や支援策等に取り組む。
- 新たな観光資源の発掘や体験型観光コンテンツの開発等沖縄独自の強みを活かした誘客戦略を推進する。
- キャッシュレス化や観光情報のデジタル化の推進、デジタル技術導入支援等に取り組む。

成果指標達成に向けた主な取組の充実

- 「成果指標」の達成状況は低い「主な取組」は順調の割合が高いなど、ミスマッチな点もある。成果指標に紐づいている主な取組について改めて関係者間で共有を図り、取組の更なる推進を図るとともに、必要に応じ、目標設定の見直しについても検討する。